
翌日、世界の終わり

風野四季

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

翌日、世界の終わり

【Zコード】

N7372A

【作者名】

風野四季

【あらすじ】

世界の終わりの前日、ある場所でのたつた二人の物語

オレの生まれた世界が終わる前日。

人々はいつもとなんの変わりばえもしない日常を過ごしていた。

「神は仰せ付けられた。大事に慌てる」と愚の骨頂と知れど

「つまり世界が終わると知っているのに何もしないで死ね、ヒ?」

「神の言われたことだ。仕方がなからう」

「神が?だから仕方ない?」

「そうだ」

「世界が終わるってえのに…自分が死ぬってえのに…それがわかつてんのになにもしないで今日を過ごせつてのかよつ…!」

「そうだ。全ては神が仰せ付けられたことだ」

「神つてえのが言ったことがそんなに大切なことなのか?あんたはそれで満足なのか?」

「口を慎めつ!…若造がつ!…まだお前ぐらいの若造にはわからんかもしれんがな。神は我々にとつて絶対的な存在だ。そして、今まで我々を守つてきてくれた大切な方だ」

「…」

「神の教えは絶対だ」

「じゃあ、あんたは神に死ねと言わされたら、死ぬのか？」

「ああ。死ぬ。神の仰せ付けられたとあれば喜んで死ぬさ。若造」

「何も残さないで、か？」

「それが神の望みとあらば」

「もう一度問う。妻、子、友人、愛する人達、大切な人達に別れも告げずに、か？」

「なつ」

「そういうことなんだよ。あんたのいつ神が望んでいたことは」

「…」

「じゃあ。オレはヒトを世界を創ったのは神だと認めよ。それで、そのヒトの生活を築き上げたのも本当に神だと言えるのか？仕事して、遊んで、寝て、大切な人作って」

「それは」

「言えないだろ？だからだよ。神が世界を創ったんだから壊すのも勝手だよ。仕方がないさ。それは運命だ。諦めよ。」

- 1 -

「でも、オレ達の生活はオレ達で築き上げたんだ。何故、自分達が作り上げたものまで壊されなければいけない。そんなのは間違つてる」

לען... ל

「せめて、俺達自身で壊す時間をくれてもいいはずだろ？」「

—
—
—
—
—

「違うか？」

「確かに、な。若造、貴様の言う通りかもしけん」

「だったら後悔しないようにどこでも行きたいよ、

「しかし私にはここに住み込みでお前を見張ると言う神に決められた義務が」

「あんたの大切な人は誰だ？」

「私は娘が一人と孫は双子の女の子が。まあ。こんな仕事をしておおかげで、忙しくて実際にはまだ会ったことがないしかし、娘が写真を送つてきてくれたんだ。どうだ可愛いだろ?」

「そうだな。可愛い。すぐに飛んで行つて抱き締めたいぐらいに、
だろう?」

「ああ」

「世界の終わりに『義務』なんて言葉は通用しない。もしもあるとすれば 残された時間を精一杯に生きて、自分にできる」とする
それが『義務』だ」

「随分自分勝手な『義務』だな」

「世界が終わるついでに自分勝手もなにもないぞ」

「イタタツ。食事を渡すために鍵をあけるといつまではよかつたのだが、お腹が痛くなつてしまつたようだ。貴様を見張つていなければいけないのに」

「おい。どこの行くんだよ」

「便所に決まっておる」

「

「若造、便所に行く前に聞きたいことがある」

「なんだ」

「貴様は何故ここに入つた?」

「生きるための最善の策を実践したからかな」

「フン、やうこいつと思つた」

「 なら聞くなよ」

「 達者でな。神の御加護があらん」とを

「 あんたもな」

オレはその日 世界が終わる前日に暗く冷たい牢獄から脱獄した。

『 残された時間を精一杯に生きて自分にできるのとをする』

翌日、世界は終わった

01 (後書き)

会話文の練習による文ですので評価はあまり期待してません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7372a/>

翌日、世界の終わり

2011年1月20日01時47分発行